

科目ナンバリング		U-LAS04 10010 LJ45							
授業科目名 <英訳>	社会学Ⅰ Sociology I			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 吉田 純				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	月3/火5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
社会学は「常識的な見方」を超えて、表面的な現実の背後にある社会構造や社会関係を解明する学問である。われわれの身近な社会現象を素材に、社会学的発想および社会学理論の基本を学ぶ。									
[到達目標]									
社会学理論の基礎知識とその経験的応用事例の習得を通じて、現代社会を客観的・批判的にとらえることのできる視点・発想を身につける。									
[授業計画と内容]									
教科書に沿って、下記の順序で進める									
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション.....講義内容、履修方法、および期末レポートについて説明 2. [1章] 社会.....社会学の対象としての「社会」とは何か 3. [2章] 行為.....行為は社会をつくり、社会は行為をつくる 4. [3章] 集団.....社会の部分集合としての集団とその類型 5. [4章] 家族.....社会の「私的」領域としての家族の変容 6. [5章] 都市.....社会空間としての都市の特性 7. [6章] 逸脱.....人はなぜ社会規範から逸脱するのか/しないのか 8. [7章] コミュニケーション.....社会の構成要素としてのコミュニケーション 9. [8章] 知識.....社会における教育・教養・学問の存在意義 10. [9章] 宗教.....社会における宗教の存在理由 11. [10章] ジェンダー.....社会の基本構造としての性差 12. [11章] 医療と福祉.....社会の生命維持装置としての医療と福祉 13. [12章] 現代社会.....リスク、グローバル化、情報化を中心として 14. 総まとめ.....社会学の視点から現代社会の総体を捉えなおす 15. フィードバック.....PandA上で実施 									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
<ul style="list-style-type: none"> ・平常点(40点満点)および学期末レポート(60点満点)による ・平常点は、PandAを用いた講義各回ごとの課題の提出による(詳細は初回授業で説明する) ・学期末レポートの概要についても、初回授業で説明する 									
----- 社会学Ⅰ(2)へ続く -----									

社会学Ⅰ(2)

[教科書]

奥井 智之 『社会学 第2版』 (東京大学出版会) ISBN:4130520253 (PandAサイトで追加資料を配布する)

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

(関連URL)

https://socius.jp/?page_id=51(参考サイト:『社会学感覚』(野村一夫・国学院大学教授))

[授業外学修(予習・復習)等]

- ・教科書およびPandA上で事前配布する資料を予習しておくこと
- ・資料の当日配布は行わないので、必ず各自で事前にダウンロードし、講義当日持参すること(必ずしも印刷する必要はない)
- ・PandAサイトで復習用課題を実施する(詳細は初回授業で説明)

[その他(オフィスアワー等)]

- ・社会のリアルタイムの動きに対する関心・好奇心の旺盛な学生を歓迎する
- ・PandAサイトを上記の課題実施ほか、授業に関する各種連絡に活用する(利用方法は初回の授業で説明)
- ・教室定員に収めるため履修人数制限を行います